

深谷一昌平 初優勝し昌平の選手たちが喜びを爆発させる＝18日、熊谷ラグビー場（福馬真吾撮影）



# 昌平が初優勝 深谷の4連覇阻む

## 創部39年目で悲願

ラグビーの第97回全国高校埼玉大会（埼玉新聞社など後援）最終日は18日、熊谷ラグビー場で決勝が行われ、第2シードの昌平（杉戸町）が4連覇を狙った第1シードの深谷を21-17の逆転で下し、創部39年目で初優勝を遂げた。1972年以来、県北勢がタイトルを独占してきた県高校ラグビー界で県北以外のチームが優勝したのは2013年の浦和以来、4年ぶり2度目。昌平は全国高校大会12月27日～来年1月8日・大阪花園ラグビー場）に埼玉代表として初出場する。11面に関連記事（金子栢樹）



劇的な逆転勝利だった。昌平は14-17で迎えた後半ロスタイムの4分すぎ、FWの密集から展開し、FBジョンストンが左サイドを駆け抜け、値千金の決勝トライ。チームは「選手たちが本当によくやってくれた。準決勝も厳しい試合で逆転していたので、こういったらやってくれ」と信じていたと涙ぐみながら選手の手を祝福。主将のロック岡田大生は「うれしさを乗り越えて言葉にならない。チームを信じて戦った」と胸を張った。

準決勝の浦和戦では後半、10点差をひっくり返す逆転勝ち。決勝は先手を取りながらも後半17分に逆転を許した。今季の2戦と同じ展開に御代田監督は「またか」と思ったそうだが、選手たちの粘りと集中力は指揮官の予想を超えていた。終盤、途切れることのない波状攻撃を仕掛け、歴史の扉をこじ開けた。

次は全国の強豪が集う花園に初挑戦する。御代田監督は「当たって砕けるの精神で臨む」と、たくましく成長したフィフティーンと共に新たな歴史を刻みにいく。



2017年11月19日 日曜日  
(平成29年)

きょうは何の日

浦和レッズ、土橋のVゴールで鳥栖を下し、J1復帰を決める(2000年)



埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市  
北区吉野町2-282-3  
本社代表 048-795-9930

カラーのグリーンで染まった応援席の歓喜が爆発した。

3年前、初めて決勝に進んだときは深谷の分厚い王者の壁に阻まれた。今季も1月の新人大会準々決勝、5月の関東予選決勝で対戦したが、ともに敗退。「三度目の正直」で、難敵を破った緑ジャージの選手たちは抱き合って涙を流し、悲願達成の喜びを分かち合った。

就任10年目の御代田誠監督